

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	40,172	
合計	40,172	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「長期構想」における政策の目的

新たなふるさとの誇りを生み出すために、文化の薫り高いふるさとづくりに取り組みます。

○岐阜県文化振興指針(平成19年6月策定)における位置づけ

広く県民から作品を公募し、一般に公開する「ぎふ美術展」を開催することにより、日頃の活動成果を発表できる場を提供します。

(2) 国、他県の状況

本県を除く41道県において一般的に「県展」と言われる美術公募展を実施しており、うち38県では主催または助成を行うなどの形で、県が大きく関わっている。

(3) 後年度の財政負担

令和3年度開催の第3回ぎふ美術展と同様に、今後も県補助金(10/10)により事業実施していく。

(4) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて(公財)岐阜県教育文化財団が事業を実施する。

(公財)岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	清流の国ぎふ芸術開催費補助金（ぎふ美術展）
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県教育文化財団 （理由）当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	（目的）文化活動への参加及び創造を促進する。 （内容）「ぎふ美術展」の開催
補助率・補助単価等	定額・定率・ その他 （内容）県 10 / 10 （理由）県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	終期令和3年度 （理由）社会情勢等を踏まえ、継続・廃止等の判断を行う。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>文化芸術活動へ参加する県民の更なる増加、また、新たな文化の創造及び地域の伝統文化の継承が、自律的な文化活動を確立させる。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H27)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
① 観覧者数	6,269 人	-	12,389 人	12,389 人	12,389 人	-%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	29,826 千円	64,929 千円	4,792 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和元年	<ul style="list-style-type: none"> 「第2回ぎふ美術展」では、県内外の幅広い方から計 813 件の応募があった。来館者数は 12,389 人となり、第1回を上回る結果となった。
	指標① 目標：9,505人 実績：12,389人 達成率：130%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない 	
(評価) 2	県民からのニーズが高く、他県状況等から勘案しても、県が関与し、事業実施することが必要。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2: 期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1: 期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0: ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価) 3	「第2回ぎふ美術展」では、県内外の幅広い方から計 813 件の応募があった。来館者数は 12,389 人となり、第1回を上回る結果となった。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている 	
(評価) 2	審査員の人数や審査会の進行等、旧県展からの見直しを諮り、事業の効率化に努めた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 来館者数増のため、効率的かつ効果的な広報の実施。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「企画委員会」において、第4回ぎふ美術展の具体的な実施計画について検討し、展覧会開催に向けた準備を行う。
